

44号 特集 福祉の労働環境 今、現場では何が起きているのか

「景気回復」と世間で謳われ始めて久しいが、福祉職場だけは例外だ。その労働条件の低さは「20年勤めても年収は300万程度」「求人広告を出しても、条件が悪く人がこない。このままでは閉所だ」といった声が珍しくないほど深刻だ。今号では、現場の声（インタビュー）、職員の労働条件調査報告の分析・提言を特集として組んだ。福祉という専門性を持ち、障害を持った人といっしょに歩むといった尊いはずの職種がこのままでいいのか。考える契機となればと思う。